

第23回東京障害者技能競技大会

ビルクリーニング競技 競技課題

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部
東 京 都

一般的な注意事項

＜共通＞

1 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の

2課題です。又、競技の進行は、課題1の「カーペット床清掃」、課題2の「弾性

床清掃及び机上清掃」の順番で行ないます。課題1と課題2の間には休憩

時間を設けます。

2 どちらの課題も、作業面積は、16㎡（4×4m）とし、幅木による区画とし、幅木

の上には、壁があるものとして作業を行ってください。

3 作業場所にある机は、移動させないでください。

4 2課題とも次の規定時間が定められています。

① 課題1 7分 ② 課題2 10分

尚、両課題とも残り時間が少なくなったところでアナウンスします。

① 課題1 2分 ② 課題2 3分

又、規定時間を越えたところでアナウンスしますが、作業は最後まで行なってくだ

さい。但し、規定時間を越えた競技課題と競技時間の得点は加味されません。

※原則、競技は終了まで行なっていただきますが、競技大会の運用に支障があ

る場合はこの限りではありません。

- 5 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行ないます。選手は、挙手又は

「はじめます」と申告して、2 (A・B) コート同時にスタートしてください。競技

が終了したら挙手又は「終わりました」と申告してください。又、作業ごとの

入退出を行なう際には、会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。競技中は上記

以外の声は出さないでください。

※始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。

- 6 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてくだ
さい。

- 7 作業終了後、競技時間を発表します。競技時間の発表は、2コートの両名

が終了した段階で各コート順次発表しますので、先に作業を終了した

選手は、スタートラインに戻り、もう一方の選手が終了するまで、そのま

ま待機してください。

- 8 両競技で利用できる資機材は、支給されたもの以外は使用できません。

- 9 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行なってください。

- 10 競技の採点は、作業準備・作業動作(手順)・仕様誤り・作業態度・作業時間

の5面から審査し、加点方式により行います。

- 11 選手は、本競技に適した服装をしてください。

＜課題1 カーペット床清掃＞

- 1 床の材質は、繊維系の床面とします。
- 2 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
- 3 床のごみは、「シュレッターで裁断した紙」とし、50ml程度をまいたものとします。
但し、床面全体にごみがあることを前提として作業を行ってください。

＜課題2 弾性床清掃及び机上清掃＞

- 1 床の材質は、塩化ビニール系の床面とします。
- 2 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
- 3 本課題で使用する資機材・消耗品は、選手自身が事前に用意する以外は作業用カートに載せてありますので、作業前に点検し不足なものがある場合は競技委員に申告してください。
- 4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに選手自身で調節してください。
- 5 乾式モップ用のクロスは、選手が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
- 6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
- 7 床のごみは、「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。
但し、床面全体にごみがあることを前提として作業を行ってください。

【資機材一覧】

○競技会場に準備されているもの

イ・課題1

品名	寸法又は規格	数量
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD370型	1台

ロ・課題2

品名	寸法又は規格	数量
作業カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業表示板	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
モップ房	260g 白色	1個
小型ぼうき	30cm幅用	1本
乾式モップヘッド	63cm	1個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1枚 無地 から拭き用 (白色) 1枚	2枚
ダスタークロス	69cm幅の不織布	1枚
ビニール袋	ごみ箱用替袋	1枚

○選手が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量
作業着（上・下）		1 着
作業帽又は三角巾		1 個
作業靴		1 足

*持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 カーペット床清掃（作業時間：7分）

作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<p>・作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。</p> <p>・ホースには、ウォンドと吸込口がセットしてある。</p>	<p>・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。</p> <p>・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</p>	<p>資機材の点検終了後、係員の指示に従い作業準備に入る。</p>
競技開始の挨拶	<p>所定の位置に立ち、挙手又は「はじめます」と挨拶をおこない競技を開始する。</p>	<p>片手を挙げ、一礼する。</p>	<p>作業開始を申告する。</p>
作業準備	<p>真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。</p>	<p>・吸込口全体に手をあて、風量を点検する。</p>	
入室の挨拶	<p>入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。</p>	<p>「失礼します」と一礼して入室する。</p>	

じょじんさぎょう 除塵作業 しんくうそうじき (真空掃除機)	① 真 空 掃 除 機 を 使 用 し て いりぐち じょじん にゆうしつ 入 口 を 除 塵 し、入 室 す る。 ② 室 内 で の 作 業 手 順 (動 せん せん 線) は、カーペット 床 さぎょうてじゅん どうせん 作 業 手 順 (動 線) の と おり 行 う。 ③ ごみ箱 は 移 動 さ せ て 除 塵 する。 ④ 前 進 し な が ら 除 塵 す る。 ⑤ 作 業 が 終 了 し た ら そうじき しつない だ 掃 除 機 を 室 内 より 出 し て プラ グ を 抜 く	・ごみを踏まないよう てきせつ どうせん に 適 切 な 動 線 で ゆかめんぜんたい 床 面 全 体 を じょじん 除 塵 する。 すいこみぐち てきせつ ・吸 込 口 を 適 切 に ゆか 床 に あ て、ごみ を かいしゅう 回 収 する。 いす てまえ ひきだし ・椅子 を 手 前 に 引 き 出 つくえした じょじん し、机 下 の 除 塵 を 行 い、元 に 戻 す。 そうじきほんたい て ・掃 除 機 本 体 は、手 で も 持 っ て 移 動 する。 も ・ プラ グ を 持 っ て 抜 く	ごみは、シュレ ッターで裁断 したものを 50ml程度均等 にまいてある。
てんけん 点 検	ゆびさ また もくしてんけん おこな 指 差 し 又 は 目 視 点 検 を 行 う。	しきざい わす、 資 機 材 の 忘 れ、ごみ の と の こ 取 り 残 し が な い か てんけん 点 検 する。	
たいしつ あいさつ 退 室 の 挨拶	でぐち しつない む 出 口 に て、室 内 に 向 か っ て たいしつ あいさつ おこな 退 室 の 挨拶 を 行 う。	しつれい 「失 礼 し ま し た」と いちれい たいしつ 一 礼 し て 退 室 する。	
しきざい かたづ 資 機 材 の 片 付 け	しんくうそうじき 真 空 掃 除 機 の コード を てきせつ ま 適 切 に 巻 き、真 空 掃 除 機 を ほかんばしょ もど 保 管 場 所 に 戻 す。		
しゅうりょう あいさつ 終 了 の 挨拶	しよてい いち た しゅうりょう 所 定 の 位 置 に 立 ち、終 了 あいさつ おこな の 挨拶 を 行 う。	お 「終 わ り ま し た」等 の い しひょうじ おこな 意 思 表 示 を 行 う。	さぎょうしゅうりょう 作 業 終 了 を しんこく 申 告 する。

※作業表示板はあらかじめ適切な場所に立ててある。又、作業終了後も、立てたまの状態で、選手は手を触れる必要はない。

かだい だんせいゆかせいそうおびきじょうせいそう さぎょうじかん ふん
課題2 弾性床清掃及び机上清掃 (作業時間:10分)

さぎょうしょう
作業仕様1-1

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
しきざい じゅんぴ 資機材の準備	<p>さぎょう ひつよう しきざい ・作業に必要な資機材(タ オル・モップ)は、すで に作業カート(以下カー ト)上部に準備されている。</p> <p>①ワンタッチモップ柄 (以下柄)の長さを 調整し、カートの所定 の場所にセットする。</p> <p>②ダスタークロスを乾式モ ップヘッド(以下ヘッ ド)に装着し、カート 上部に置く。</p>	<p>ひつよう しきざいおよ ・必要な資機材及び 数量は、資機材 一覧を参照する こと。</p> <p>しきざい かぶそく な ・資機材が過不足無く 準備されているか 点検し、異常があ れば申し出る。</p>	<p>しきざい てんけん 資機材の点検 しゅうりようご 終了後、 かかりいん しじ 係員の指示に したが さぎょう 従い作業 じゅんぴ はい 準備に入る。</p>
きょうぎかいし あいさつ 競技開始の挨拶	<p>しよてい いち た 所定の位置に立ち、挙手又 は、「はじめます」と挨拶を おこな 行い、競技を開始する。</p>	<p>かたて あ いちれい 片手を挙げ、一礼す る。</p>	<p>さぎょうかいし 作業開始を しんこく 申告する。</p>
さぎょうじゅんぴ 作業準備	<p>さぎょうよう い か 作業用カート(以下カー ト)を保管場所から作業 場所の近くへ移動し、作業 表示板を立てる。</p>	<p>さぎょうひょうじばん いち 作業表示板の位置 は、作業の邪魔にな らない適切な箇所。</p>	
にゅうしつ あいさつ 入室の挨拶	<p>いりぐち しつない む 入口にて、室内に向かっ て入室の挨拶を行う。</p>	<p>しつれい 「失礼します」と いちれい にゅうしつ 一礼して入室す る。</p>	
いす あげ 椅子上げとごみ しより 処理	<p>さぎょうまえ いす きじょう ①作業前に椅子を机上に あ 上げる。</p> <p>②ごみ箱にセットされてい るビニール袋を回収 する。</p> <p>③回収したビニール袋 をカートの袋の中に入 れる。</p> <p>④ビニール袋の替袋 を取り出し、ごみ箱にセ ットする。</p> <p>⑤ごみ箱を机上に上げる</p>	<p>つくえ うご ・机は動かさない。</p> <p>・ビニール袋を適切 にセットする。</p>	

	る。		
じょじんさぎょう 除塵作業 (乾式モップ)	①ダスタークロス ^{そうちやく} を装着 ^{かんしき} した乾式モップヘッドは入りぐち ^{ようじょう} 入口の養生 ^{えん} マットの ^え 上で柄 ^と に取り ^つ 付ける。 ②乾式モップで、外 ^{そと} から入りぐち ^{じょじん} 入口を除塵 ^{にゆうしつ} し、入室 ^{しつない} する。 ③室内 ^{さぎょうてじゅん} での作業 ^{しつない} 手順 ^{さぎょうてじゅん} (動線 ^{どうせん})は、乾式モップ ^{かんしき} 作業 ^{さぎょうてじゅん} 手順 ^{どうせん} (動線 ^{どうせん}) のとおりコート ^{ぜんたい} 全体 ^{おこな} を行 ^う う。 ④ごみ ^{ぜんしん} は前進 ^{でぐち} しながら出口 ^む に向 ^{かしよ} かって1箇所 ^{あつ} に集 ^め める。 ⑤ヘッド ^え を柄 ^{はず} から外 ^{はず} す。 ⑥使用 ^{しようず} 済みのダスタークロスをヘッド ^{はず} から外 ^{はず} し、カート ^{ふくろ} の袋 ^{なか} の中 ^{なか} に ^い 収納 ^{しゅうのう} する。 ⑦柄 ^え とヘッド ^え をカート ^{もど} に戻 ^{もど} す。 ⑧小型 ^{こがた} ぼうきと文化 ^{ぶんか} ちりと ^{しやう} りを使用 ^{しやう} し、集 ^{あつ} めたごみ ^{かいしゅう} を回 ^{かいしゅう} 収 ^{かいしゅう} する。 ⑨ごみ ^と の取り ^{のこ} 残 ^と しが ^{のこ} ないか ^{てんけん} 点 ^{てんけん} 検 ^{てんけん} する。 ⑩小型 ^{こがた} ぼうき、文化 ^{ぶんか} ちりと ^{しやう} りをカート ^{もど} に戻 ^{もど} す。	・柄 ^え の先端 ^{せんたん} には親指 ^{おやゆび} を添 ^そ える。 ・ヘッド ^{へん} の辺 ^{ひろ} は広 ^{ほう} い方を ^{せんこう} 先行 ^{せんこう} させる。 ・入 ^{いりぐち} 口 ^{ぐち} のごみ ^ふ を踏 ^ふ まな ^ふ いように足 ^{あし} 場 ^ば を確 ^{かく} 保 ^ほ する。 ・ヘッド ^{ゆか} は、床 ^{はな} から離 ^{はな} さない。 ・使用 ^{しようず} 済 ^済 みダスター ^{ダスター} クロ ^{クロ} スはカ ^{ふくろ} ートの袋 ^{ふくろ} の中 ^{なか} に ^い 入 ^い れる。 ・ごみ ^と の取 ^と り残 ^{のこ} しがあ ^あ る場 ^ば 合 ^あ いは、小 ^こ 型 ^{がた} ぼう ^{ぼう} きと文 ^{ぶん} 化 ^か ち ^ち り ^り と ^と り ^と を ^{しやう} し ^{かいしゅう} 回 ^{かいしゅう} 収 ^{かいしゅう} する。 ・ヘッド ^え は、カ ^{ふくろ} ート ^{ふくろ} の ^え 上 ^{じやうぶ} 部 ^ぶ に、ス ^{めん} ポ ^{うえ} ン ^え ジ ^え 面 ^{めん} を ^{うえ} 上 ^{うえ} に ^し て、 ^{じやま} 邪 ^ま 魔 ^ま に ^な ら ^な い ^い よう ^{よう} に ^お 置 ^お く。	ごみは、おがく ^{ていど} ずを50ml程 ^{ていど} 度 ^{ていど} 均 ^{きんとう} 等 ^{とう} に ^ま い ^い て ^い あ ^あ る。

さぎょうしょう
作業仕様 1-2

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずふさぎょう 水拭き作業 (モップ)	<p>①コート全体面積を拭く。</p> <p>②室内での作業手順 (動線)は、水拭きモップ作業(動線)手順のとおりコート全体をおこなう。</p> <p>③コーナー周りと机の脚周りは房糸に手を添えて拭く。</p> <p>④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。</p> <p>⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。但し、机の下・横については縦拭きとする。</p>	<p>・拭き残し、拭きむらのないようにする。</p> <p>・柄の先端には親指を添える。</p> <p>・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。</p> <p>・拭いたところを踏まないようにする。</p>	
ばこいすお ごみ箱と椅子下ろし	あんぜん おと た 安全に音を立てないように下ろす。	あし うえ お ・足の上に落とさないように注意する。	
きじょうぶ 机上拭き	<p>①青色のタオルを八折にして持つ。</p> <p>②机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルで、から拭きをおこなう。</p> <p>③机表面全体をてじゅんどお おこなう手順通り行う。</p>	<p>・タオルが汚れたら、きれいな面に替えて拭く。</p> <p>・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。</p> <p>・横・縦拭きを行う。</p>	
てんけん 点検	ゆびさ また もくしてんけん 指差し又は目視点検をおこなう。	しきざい わす ・資機材の忘れ、ごみの取り残しなどの点検を行う。	
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	しつれい 「失礼しました」と一礼して退室する。	

しきざい かたづ 資機材の片付け	さぎょうひょうばん 作業表示板をカートに しゅうのう ほかん 収納し、カートを保管 ばしょ もど 場所に戻す。		
しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶	しよてい いち た 所定の位置に立ち、 しゅうりょう あいさつ おこな 終了の挨拶を行う。	お 「終わりました」等の い しひょうじ おこな 意思表示を行う。	さぎょうしゅうりょう 作業終了を しんこく 申告する。